

# 市議会だより



前田森林公園

主な内容

## 平成16年 第1回札幌市議会定例会終わる

第1回定例会

平成16年度各会計予算を可決 P.2

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書などを可決 P.4

代表質問から P.6

第1回臨時会

会議に付した事件 P.5

その他

平成16年度の各委員会メンバー紹介 P.5

市議会タイムマシン P.12



さっぽろ市議会だより No.62 平成16年5月発行

## 平成16年第2回定例会 審議日程(予定)

下表のとおり、5月28日から6月9日までの会期13日間で開かれ、各会派の代表質問は6月2日から3日間の予定です。

月日	審議日程	
5月28日(金)	本会議	【招集日】 提案説明など
6月 2日(水)	本会議	代表質問、 契約案件議決
3日(木)	本会議	代表質問
4日(金)	本会議	代表質問、 議案付託
7日(月)	(休会)	【常任委員会】
9日(水)	本会議	【最終日】



議会トピックス

### 札幌市子ども議会

1月8日、札幌市議会の本会議場で子どもたちが市長(まつもと)の提案をめぐり札幌市子ども議会が開かれました。市内の小中学生65名議員と、市議会(佐々木)の議員を交えて、昨年秋から調査報告や案を準備してきました。子ども議員たちは「子ども広報紙の発行」「SDGsの取り組みの調査」「SDGsの取り組みの調査」などの提案を発表し、そのうちいくつかについて田中市長が答弁を行いました。

編集発行 札幌市議会事務局 ☎(011)330-602



## 市議会タイムマシン

SAPPORO CITY ASSEMBLY TIME MACHINE

▲大通3丁目に行幸記念聖徳碑が竣工。昭和14年4月、昭和美雪の行幸以来、着工が四度、道路を整備されました。

**この期の主な出来事**

- 本平洋製薬動産 (昭和16年12月)
- 第5回臨時議会 (昭和15年10月)にて札幌市の人口が25万、103人となり、函館市を抜き全道一に

**第5期**

昭和13年10月3日・昭和17年10月2日、定数40名札幌市議会に議員会。現在の議員会に相当しが設置されたのは昭和15年10月。当時の議員会は教育、交通、水などでの6区選出議員(市会)の各選出から1人ずつの幹事を選出(市会)して役員会を結成し、現在の議会運営委員会の役割を果たしてしま

▲第5期市会議員 昭和12年3月に建てられた庁舎前が撮影

第1回 定例会市議会

# 平成16年度各会計予算 (計1兆5,427億円)を可決

平成16年第1回定例会は、2月25日から3月30日までの35日間開かれました。

代表質問は3月1日から3日間行われ、8人の議員がそれぞれ会派を代表して、提出された議案と市政に関する諸問題について質問しました。

最終日までに、平成16年度各会計予算や、札幌市事務分掌条例の改正案など議案62件、意見書案8件および決議案1件が全会一致または賛成多数で可決または同意され、人権擁護委員候補補選に関する件が、全会一致で推薦することが適当と認められました。

また、最終日には中央・北・東・白石・豊平・南・西の7区の選挙管理委員および補充員の選挙が行われました。



市長提案説明がら



## 80億円の経費節減を図りながら 重点事業には積極的に予算を計上

平成16年度の経済見通しは景気の回復が続く中で、なお緩やかな下り傾向は続い、総務の動向が、とりわけ重要視される。中でも、あきらかに懸念されるのが、地方交付金である。

このうち、中でも、国庫交付金削減が、とりわけ懸念される。平成16年度予算を基盤的に15年度以下の水準に抑制するほか、繰上金にわたる節減などが、構造的な改革を推進する。一方、地方交付金については、国庫交付金の削減が、とりわけ懸念される。平成16年度予算を基盤的に15年度以下の水準に抑制するほか、繰上金にわたる節減などが、構造的な改革を推進する。一方、地方交付金については、国庫交付金の削減が、とりわけ懸念される。

### 可決された 主な議案

■平成16年度各会計予算19件  
予算規模は左表のとおりです。

区分	16年度	15年度	増減率(%)
一般会計	8,128	8,098	0.4
特別会計	4,377	4,243	3.2
企業会計	2,923	3,052	▲4.3
合計	15,428	15,393	0.2

(注) 1 予算額は会計年度ごとに適用年度を繰戻し入っています。  
2 15年度は再行補正後の数値です。

■平成16年度一般会計補正予算

次の内容で総額85億4,150万円を追加するものです。  
①地元の中小企業の受注機会の確保に資するものとして、市民利用施設の小規模な改修やバリアフリー化など、緊急を要するものに係る経費、小学校の校内LAN整備などについて、未整備の全校分の経費が所管行政法人雇用元開発機構が所

有する勤労者職業福祉センターの持分を購入し、今年度の経費から、北地区に新設する中学校の用地を取得する経費が不足が生じる見込みなど、た生活保護費や私立保育園運営費など。

■札幌市事務分掌条例の部改正

多様で大規模な災害、事件事故などへの対応に際しての体制を強化する。また、自治体の組織として危機管理対策を、子育て支援や少子化対策など、子どもに関する施策に対する体制を強化するため子ども未来局を、芸術文化施設を観光資源として活用する。観光と文化を一体として推進していく体制を強化するため、観光文化局をそれぞれ新設するもの。

■札幌市購買連環手当支給条例の全部改正

全員の退職手当について(1)最高支給率を約1.5%引き上げる(2)定年前期退職者に対する特別措置として、対象年齢を引上げる(3)ともに、6年超えて加算割合を引き下げるなどの見直しを行うもの。



▲7階、9階、10階と3人室内に整備される多目的交流施設(東区佐野町)

■札幌市農林体験交流施設条例の部改正  
平成16年度から整備して、水口さくら公園で、職工の供用を4月から開始する。また、公園と公園と、市内に整備する多目的交流施設の使用料を定めるもの。



▲資料写真資料センター(南区光明の森)完成予定

■札幌市公園条例の部改正  
若衝の森野分サークルを運営するなどの件に付いて、その使用料を新たな施設の種類や機能に応じた強制的改正を行うもの。

■札幌市図書館条例の部改正  
市民参加型図書館推進計画の推進を図り、運送に関する事項を審議する札幌市図書館協議会を設けるため、必要な事項を定めるもの。

■包括外部監査契約締結の件  
平成16年度において包括外部監査を実施するに当たり、公設会計士である山崎勝氏と包括外部監査契約を締結するもの。

■自転車等の放置の防止に関する条例の部改正  
急増する放置自転車などに対応するため、自転車などを放置禁止域外の道路(公園)の公共の場内においても、放置自転車など、生活環境や都市機能を著しく損壊おそれられるものとして、移動するよう指導するもの。

■自転車等の放置の防止に関する条例の部改正  
急増する放置自転車などに対応するため、自転車などを放置禁止域外の道路(公園)の公共の場内においても、放置自転車など、生活環境や都市機能を著しく損壊おそれられるものとして、移動するよう指導するもの。

れては、自転車などの歩法などを行つて行くべきであるものとする。

「札幌市オン・オフ・パルク」の任期を満了した三谷美夫氏の後任者として、佐藤純一氏を推薦することについて、議長の同意を請うた。

### 可決された 意見書案・決議案

**義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書**

政府は義務教育費国庫負担制度の見直しを進め、おの／＼三位一体改革にも連動し、制度の転換として、制度主体の交付金化や制度の移行を進めていくことがこれを採行するものである。これらを実施された場合は、地方財政が随分拍車がかかると見られます。義務教育費国庫負担制度を十分尊重し、現行制度を堅持するよう、政府に要請するものとする。

**札幌市では、主な公共施設において、環境・市場・福祉、地方、民主政治の原点となる、へる地方議会の議決において、国の須田の国庫と市の後援の市場を指導する、といった重要な案をもつ。として、札幌市議会の場において、国庫および市場を指導する、を決定するものとする。**

「地方財源の拡充を求める意見書」次の措置を講じるよう、国庫と政府に要請するものとする。①国庫補助費負担金の廃止に当たり、所要の財源を基礎に一旦移換することにも、不要な間接税を廃止・縮小して自治体の減収を拡大すること。②地方交付税の大輪削減は行わず。地域住民に対する適切な行政サービスの提供に必要な地方交付税の確保を図られるよう、特段の配慮を行う。

**防災保険制度の国庫存続を求める意見書**

国は防災保険制度の民間開放に向けた検討を行っているが、これを行えば防災準備の未熟な担当や公平公正な運営の確保など、問題が生じかねない。企業側等の労働者に対する未払賃金立替払制度も廃止される可能性が危惧される。よって、制度を引き継ぎ国庫の国庫制度として存続するよう、政府に要請するものとする。

**寒冷地特有の支給水準維持に関する意見書**

寒冷地特有の児童手当に当たっては、児童の生活実態を踏まえて、他の児童手当よりも多数が繰越金の発生を懸念している。平成16年第1回臨時会は、1月26日に開かれた。1月18日に行われた西市区議会議員有志調査会に当たった大嶋寛二、村山秀徳両議員がこの議題から出席しました。

### 第1回臨時会

#### 会議に付した事件

常任委員会の補充選任  
総務委員 村山秀徳議員を文  
教委員に大嶋寛二議員を文

特別委員会の補充選任  
別委員 村山秀徳議員を選  
任しました。

議会運営委員会の新任  
議会議長 村山秀徳議員

議会運営委員会の補充選任  
議会議長 村山秀徳議員

議会議長 村山秀徳議員

していき、これによる地域経済への影響は計り知れません。よって、本年の勤労給付と改修の実施に当たり、現在の寒冷地手当の交付水準を維持するよう、政府と市に要請するものとする。

**マンション対策の充実強化を求める意見書**

次の対策を講じるよう、政府に要請するものとする。①管理組合や区分所有者の情報提供や相談対応などの支援体制の充実を図ること。②マンション定期借家人者による勧誘等を行つた定期診断制度の導入や長期修繕計画の策定・修繕積立金の取り立ての徹底など。③共有部分に対する税金負担や修繕整備負担について、可成り住宅と比べ不利にならない取り扱いを図る。

**食の安全に関する意見書**

次の対策を講じるよう、政府に要請するものとする。①米国産牛肉にも全額検査体制を求めること。②高病原性鳥インフルエンザ対策を含む牛肉製品の回収に努める。③北海道警署旭川中央署に警備を

徹底的な説明・予防対策を必要とする。①食の危機管理対策を急ぐ。②便値上げや不当表示の防止のため、価格の抑制を強化する。③輸入中止によう調整を受けた流通。④外食関連産業が鳥インフルエンザ発生地区からの訪問者を対象に、入国・入港検査を強化し、渡航者に対する安全確保に努める。

**国連子ども権利委員会の勧告に沿った教育政策の改善を求める意見書**

国連子どもの権利委員会が1月に日本政府に対しての国連の勧告を行い、前回に対しては指摘に対応した取り返しがなされて、引き続き改善を促されました。国連子どもの権利委員会も勧告を踏まえて、子どもが安心して生活できるように努めます。政府に要請するものとする。

**捜査用報償費等不正経理疑惑の徹底説明を求める意見書**

北海道警署旭川中央署に警備を

### 各委員会の新メンバーをお知らせします

3月30日の本会議において、下表のとおり決まりました。

区分	総務 (12人)	文 (11人)	教 (11人)	環境消防 (11人)	厚生 (11人)	建設 (11人)	経済公営企業 (11人)	議会運営 (13人)
委員長	長内直也	恩村一郎	熊谷 蕨一	大嶋 薫	村松 正海	三浦 英三	三上 洋右	
副委員長	高橋 由美	村山 秀徳	五十嵐徳美	細川 正人	宮村 素子	大越 誠幸	笹田 昭夫	
委員	三宅 忠明	馬場 泰年	小谷 俊蔵	宮村 素子	吉人 光之	大越 誠幸	笹田 昭夫	笹田 昭夫
	上瀬戸正則	山田 一仁	三上 洋右	勝本 勇人	横山 光之	川口 正	近藤 和雄	小野 正美
	阿知良寛美	輝夫	鈴木 健隆	西村 茂樹	川口 正	近藤 和雄	伊与部敏雄	山田 光之
	畑瀬 幸二	藤原 廣昭	渡谷 隆夫	小田 信孝	村上 勝志	斎藤 紀昌	小形 香織	渡井 潤一
	齋藤 雄一	桑原 返	小野 正美	柿崎 勲	小川 勝美	伊藤理智子	小形 香織	高橋 克朗
	阿知良寛美	藤原 進	青山 渡子	高橋 勲	小川 勝美	伊藤理智子	小形 香織	高橋 克朗
	飯坂 宗子	藤原 進	青山 渡子	高橋 勲	小川 勝美	伊藤理智子	小形 香織	高橋 克朗
原口 伸一	井上ひさ子	宮川 潤	佐藤 雅司	小川 勝美	伊藤理智子	小形 香織	高橋 克朗	
小林 穂子	坂 ひろみ	福士 勝	福士 勝	福士 勝	福士 勝	福士 勝	福士 勝	
松浦 忠								松浦 忠

# 代表質問から

8名の議員の質問と、市長などの答弁を紹介します。

## 自民党

村松 正海 議員

### 敬老パス

**問** 市長は敬老パスの在り方について市民議論をしながら検討すると言っていますが、10カ月が経過したがまだ進んでいない。敬老パスの制度の意義を考えた上で、本市の居住年数も考慮しながら、少くく所得により交付を制限するなどして年齢を現行の70歳から引き上げ、より活用しやすくすることを考え、市長はどの制度が具体的にどのような

世帯を高齢者や学年前ま拡大すべきであるかが、またその際にも自治体間の負担をどうするか、と疑問が、市長に考えを伺いたい。

**答** 乳幼児医療費助成制度については、重要な子育て支援策の一つである認識しており、補助主体である北海道が対象年齢を就学前まで拡大しようとする点は評価がある。しかし、重度の身体がけや事業の受給的な返金を回る観点から検討すべき課題であると考えている。

従って、乳幼児医療費助成における対象年齢拡大の実施に向けた札幌市の対応については、道議会での議論を更極めることで、これまでの市議会での議論や市民からの要望を踏まえて札幌市が単独で歳入医療費助成制度全体の検討をしてきたという経過がある。



あるべきことを考えるのが、

**答** あくまで制度の存続を前提に、これまでできる限り市民への情報提供に努めアンケート調査や出前説明などを通じて、皆さんの意見を頂戴してきた。また、アンケートや市民会での説明会、2月の市民説明では、私自身も直接意見を聞き、議論した。このような市民議論の経過を総合的に判断する上で、この制度を存続していくためには、利用者に対する負担を軽減していただく必要がある。

また、協力いただいた交通事業者などの関係から利用実績に見合う事業者への負担についても考慮すると、利用回数に制限のない進行のフリーパス制度から利用可能な金額に一定の制限を設けるよりハイ

民主党政 市民の会  
藤原 廣昭 議員

### 環境問題

**問** 道路および貯留溜槽工場の耐用年数は、おおむね6年から11年であり、今後建て替えるにても事前の計画やメンテナンス調査などを行う必要がある。札幌市は、道路と貯留溜槽を一体的に管理する必要がある。札幌市は、道路と貯留溜槽を一体的に管理する必要がある。札幌市は、道路と貯留溜槽を一体的に管理する必要がある。

札幌市でもバイオマスを活用したごみ処理を円滑化するために、半導体検査場などになる検討委員会を

方式に変えていく必要があると考えている。

なお、負担してもらおう金額やその在り方、利用上限など具体的な内容については、議会での議論を深めていただく判断をいたします。



▲市民5,000人アンケートの結果は広報ホームページ2月時に紹介された

平成16年度目々に必要とされるべきだと考え、考えを伺いたい。

**答** 一、設置リサイクルを推進するため、現在開催している「環境とみどり」市民会議や今後開催する札幌市廃棄物減量等推進審議会での議論を踏まえて、バイオマスの買入れも含めた生み処理に関する検討委員会を設けて、生み処理対策として具体的な検討をしていきたいと思います。



▲2月10日会議には市長、各委員、行政から12人が参加



### 乳幼児医療費助成制度

**問** 札幌市の乳幼児医療費助成制度については、平成15年度目から対象年齢を過渡4歳未満まで拡大して実施している。このたび北海道では16年度から乳幼児医療費給付事業の対象年齢を拡大すべしと見做すこととしており、過渡4歳未満入院6歳未満をそれぞれ対象年齢まで拡大し、感傷に対し、市民保護課に照会して一制の「問」負担を導く内容である。

本市の助成制度についても、入院・過渡とも、道の見直しにより、このほか自動車事故を過つた場合、各年度約30件発生し、他都市と比べ利用者の割合は非常に多い。他都市における転落防止対策などについて調査調査をした結果、可動式ホーム橋の設置によりほとんど事故発生がない状況である。札幌市においても、転落事故の多い早急に取り付けたいと要望がある。いかがか伺いたい。

**答** 事故が重篤な安全面でのならず、地下鉄の運行における支障とならないこと、また、交通バリアフリー法の趣旨を実現し、障がい者も安心して移動できる街づくりを行うことなどから、ホーム橋の設置は非常に有効であると考えており、平成16年度予算に調査費を計上したところである。

**問** 可動式ホーム橋の設置やホームバリアフリー化後、幅広く市民の理解と議員の協力の下、経営の効率化につながるワンマン運行導入を検討すべきと考え、見解を伺いたい。

**問** 札幌市の地下鉄3線の転落事故件数は、平成14年度が28件、15年度は転落24件となっており



管理のために必要な措置を講じなければならぬ」と明記されており、徹底して個人情報保護を行わなければならない。

また、市民が住民ネットへの参加を願うことができない制度であってもよいという方針が実現されるよう、市民に対してより進歩制度的の改正を働きかけていきたい。

### ○環境・緑化問題

**問** 予算案において市長は、街路樹の増殖化植樹を行うとしていっている。しかし、緑を増やす目的は、目立たないことを懸念して緑の量をただ単に増やすことではなく、市民が憩える公園や緑地空間を積極的に増やしていくことではないかと、それが重要である。あまじい設置計画は、緑地計画と比べて比較評価すべきである。

**答** 住区計画に位置づけられた公園の整備は、それはほかのまちづくりについても同様である。

**問** 近隣公園や地区公園の整備進捗率は、現在94.9%である。

進捗率の他にも、子どもや家庭の状況を把握しやすいうちに、ある児童虐待予防地域協力を拡充するなど、関係機関との連携をさらに強化していきたいと考えている。

### 市民ネットワーク

小林 郁子 議員

### ○食の安心・安全

**問** 食の安全はすべての市民の権利であるという考え方に立ち、札幌市独自の「食の安全基本条例」を定める必要があると考える。食の安全の確保に向けて、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

**答** 現在、食の安全確保を図るため、「札幌市食の安全衛生監視指導計画」を策定して、計画的に実施する。また、食の安全衛生監視指導計画を策定して、計画的に実施する。また、食の安全衛生監視指導計画を策定して、計画的に実施する。

**問** 平成16年度の緑化事業により、緑地面積はどの程度増えるのか。

**答** 16年度予算に計上している公園公園の事業などを実施すると、公園緑地面積は約65%増える見込みである。



▲目の前の3000坪はオープンエアビレッジ緑地のつづき

き取り検査、さらには市民協賛や情報意見交換の場など幅広い食の衛生に関する施策を進めており、これに基づいて市民の食の安全を確保すると、札幌市の食の安全行政の中核としていきたい。

### ○障がい者の就労支援

**問** 札幌市が出資する指定団体について、障がい者雇用を促進する取り組みは、どのように進められているのか伺いたい。

**答** 障がい者の就労については、非常に重要なことと認識している。指定団体は、雇用の検討を促すために進められている。また、障がい者の就労については、非常に重要なことと認識している。

**問** 昨今のＩＴ情報通信技術の進展は、障がい者に対する情報の入手や発信を通じて社会進出に役立つと見込んでいる。パンフレットを活用しているのか。

### 新政グループ

恩村 一郎 議員

### ○予算編成過程の公開

**問** 昨年、平成16年度予算編成に際して、各局からの要望原案がインターネットで公開され、市民からも対応があった。その後、市長直進を経て予算案となっており、これについては結果が従来と異なり、形では出されている。市民の原案に対して判断した経過を知るのとが気になる。

**答** 各局要望に対して市長が取捨選択したその経過を知らせていく。予算編成経過の公開については、なるべく市長の考えを伺いたい。

**問** 透明性を確保するとして、ほか市政に市民の意見を反映させることを目的としていた。具体的には、編成に先立って各局幹部と政務・施設課議を行った結果や予算編成方針、各局からの予算要求を掲載しているのか。

**問** 在宅就労など、新たな可能性を開くものと考え、このＩＴを活用した就労支援について、また、そのほかの取り組みは、どのようなものがあるのか。

**答** 平成16年10月に開設した障がい者ＩＴサポートセンターを拠点として、パソコンを用いた在宅就労などの相談やセミナーなどによる雇用情報の提供などを展開し、引き続き障がい者の就労支援に努めていきたい。

### 市政改革クラブ

佐藤 美智夫 議員

### ○都市景観デザインガイドラインの策定

**問** 札幌市内における公共事業の都市景観に配慮する観点から、デザイン基準を定めるガイドラインを策定すべきと考える。いかが伺いたい。

**答** 歩道の仕上げや街路灯などの問題に大きな影響を与えるものでない限り、予算や内容などを公開しない。このように、予算となるまでの過程において、その都度情報を公開するの仕組みが、試みであり、試行錯誤の面もある。このように、情報をどのように市民に公表していくかについては、今後とも検討していきたい。

### ○児童虐待

**問** 札幌市としては、これまで児童虐待の対応について、どのように取り組んできたのか伺いたい。

**答** 増加する児童虐待に迅速かつ専門的に対応するため、平成14年度に児童虐待対応指導課を設けた。児童虐待対応指導課を設けた。児童虐待対応指導課を設けた。児童虐待対応指導課を設けた。

**問** 今後、はるかなる取り組みを強化して取り組んでいくのか。

**答** 虐待の早期発見と早期対応については、今後も重要課題の一つである。このため、児童虐待対応指導課を設けた。

### ○サケ丘へのレジャー施設整備

**問** サケ丘のフットボールコートやプロ野球のスタンドが整備される。また、サケ丘公園には、観光客が訪れる。このように、観光客が訪れる。このように、観光客が訪れる。このように、観光客が訪れる。

**問** 提案のあった札幌ドーム周りに、どのような施設を整備できるか。また、どのような施設を整備できるか。また、どのような施設を整備できるか。また、どのような施設を整備できるか。

